

令和8年度

入学のしおり

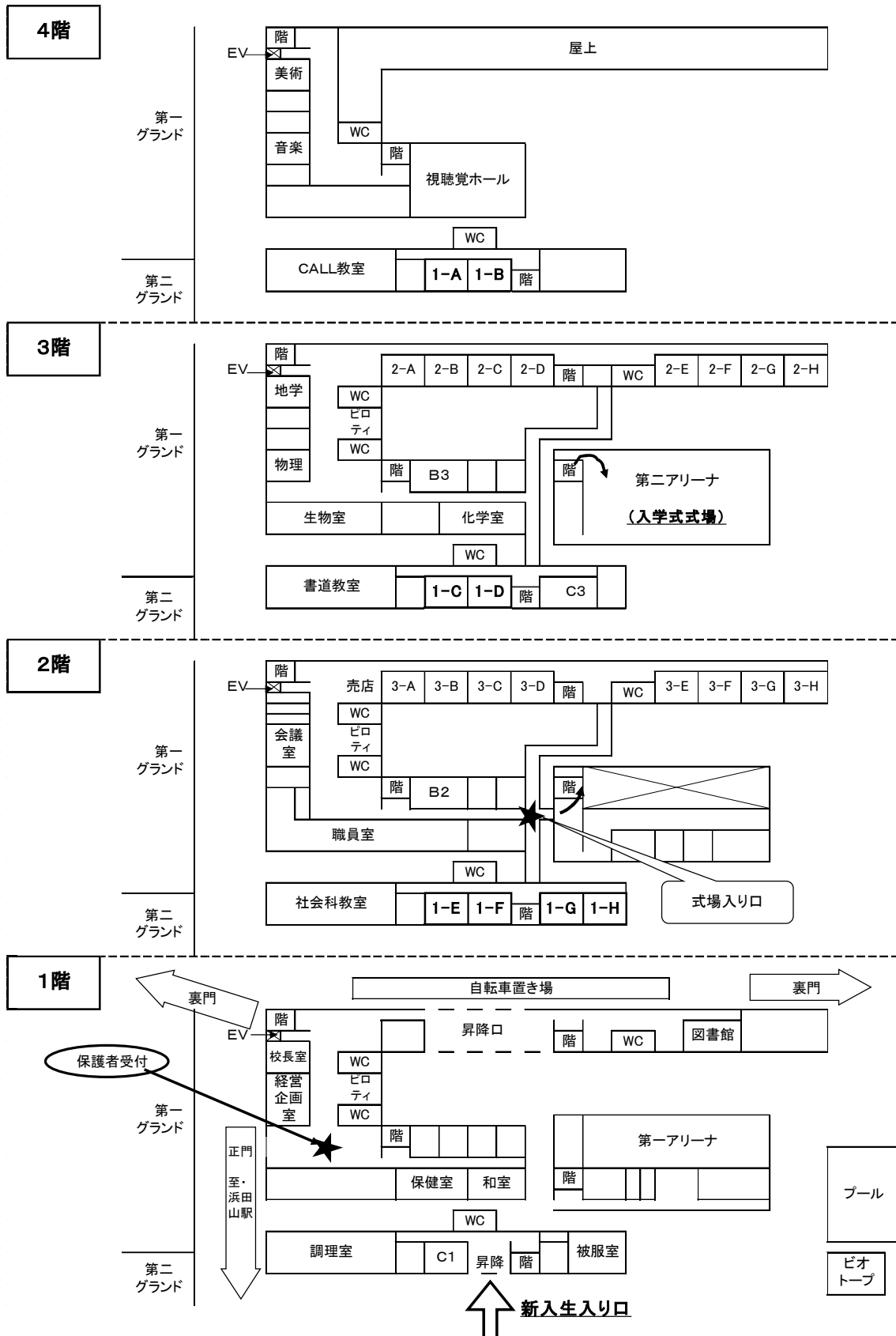
東京都立豊多摩高等学校

〒166-0016

東京都杉並区成田西2-6-18

電話03(3393)1331

豊多摩高校 校内案内図



はじめに

「入学のしおり」をはじめてお読みいただくときは、「入学確約書を提出された皆さんへ」と書かれた封筒と、その内容物をご用意ください。

記載内容についてお問い合わせいただく際には、質問に関係する書類をお手元にご用意の上、お電話をお願いいたします。

目 次

1	入学式までの日程及び入学式について	P. 1
2	学校生活について（全般）	P. 2
3	教科からのメッセージ	P. 2
4	教育課程	P. 6
5	数学Ⅰ（3単位）習熟度別授業について	P. 7
6	芸術科の選択	P. 9
7	指定用品の取扱い業者	P. 10
8	指定用品の価格・購入方法	P. 11
9	入学手続きの内容と期限	P. 12
10	入学料の納入	P. 12
11	授業料	P. 12
12	学校徴収金	P. 12
13	入学手続き書類の提出	P. 13
14	各種支援制度	P. 13
15	経営企画室について	P. 14
16	電話による問合せ	P. 14

1 入学式までの日程及び入学式について

	日にち	内容	説明
1	3月2日(月)から 3月11日(水)まで	入学手続き書類の提出	<p>【紙で提出する書類】</p> <p>①生徒証明書 ②PTA入会同意書 ③宅配伝票(教科書用) ④ESAT-Jスコアレポート(推薦合格者のみ) ⑤自己PRカード(学力合格者のみ)</p> <p>【電子申請で提出する書類】</p> <p>①生徒台帳 ②芸術科目の希望選択 ③保健調査票 ④心臓検診調査票 ⑤日本スポーツ振興センター加入同意書</p>
2	3月下旬ごろ	教科書・補助教材の購入(代金引換)	詳細は「令和8年度 新入生 教科書・補助教材について」でご確認ください。
3	3月23日(月) 14:00集合	新入生説明会	<p>可能な限り保護者の方もご参加ください。</p> <p>正面玄関(表紙裏記載の校内案内図「新入生入り口」から入ってください。</p> <p>生徒本人・保護者のどなたも出席できないときは、必ず事前に電話連絡(※)をしてください。</p>
4	4月7日(火) 10:00開式 ☆生徒は9:00に教室へ集合してください	入学式	<p><持ち物></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上履き ・体育館履き ・筆記用具 ・白衣の購入代金(P. 11 参照) <p><提出物></p> <p>①課題(作文) ②雑巾(2枚) ③自転車通学届(説明会で配布、自転車通学をする生徒のみ提出)</p>
	<p>入学式に相応しい服装で参加してください。</p> <p>生徒はクラス・出席番号を新入生入口の掲示物で確認し、9時までに自分の教室に入ってください。自分のクラス・出席番号の靴箱で上履きに履き替えます。</p> <p>この日は自転車で登校することができません。</p> <p>保護者の方の参加可能人数は、別途お知らせいたします。</p> <p>欠席するときは必ず事前に電話連絡(※)をしてください。</p>		

※連絡先(学校電話番号) 03-3393-1331 ガイダンス1番(学年)

2 学校生活について（全般）

- （１）制服は定めていませんが、場に応じたもっとも適正な身なりを整えることとしています。
- （３）上履き・体育館履きは指定のものを使用します（P. 11 参照）
- （３）個人用ロッカーを使用できます。盗難防止のため、鍵を必ず用意してください。また、下駄箱も鍵をかけられます。必要な人は鍵を用意してください。
- （４）学校生活上の諸規則、風紀上守るべき約束事、諸届けについては「生徒手帳」（入学式の日配布）に示してあります。保護者の方とともによく読んでください。

3 教科からのメッセージ

◎国語

本校では一学年で、言語能力の育成に重きを置く「現代の国語」＝主に現代文分野（週二時間）と、伝統的な言語文化に対する理解に重きを置く「言語文化」＝主に古典（古文・漢文）分野（週三時間）を学びます。古典分野の学習においては、使う言葉、文法も現代のものとは異なり、辞書を使った予習が必要になります。具体的な予習の仕方や辞書については、入学後の授業で指示をしていきますが、予習と音読の習慣を身につけてください。古典は高等学校からスタートする科目と考えて授業を行います。これからの各自の学習活動がそのまま結果に反映されます。

現代文では、論理的に読み、思考する能力とそれらをまとめて発表する能力を身につけることを目指します。

二年生では、「論理国語」＝現代文分野、週二時間と「古典探究」＝古典分野、週三時間を学習します。いずれも、一学年で学習したことをもとに、より高度な内容を扱います。

三年生では「論理国語」を週二時間全員が学習し、あとは各自の進路に応じて、古文や漢文などの科目を選択し、学びます。

すべての活動の基本となる言語を学ぶ国語をしっかりと学んでください。

◎数学

数学には積み重ねの学習が必要です。「基礎・基本的な内容」を確実に身に付けられるように何回も繰り返し学習することが重要となります。そこで、本校で数学の学習をする上で下記のことを重視するようにしてください。

学校で使用する問題集・参考書は専用のノートを作成して解く。このノートは３年間保管できるようにする。ノートを保管することで、試験や入試の前に自分の考え方がどのように誤ったのかを確認できる。

【問題集・参考書の進め方】

1回目：自分の力を試す。30～50分程度に一度だけ解答をみて正誤を確認する。

2回目：間違えた問題だけを取り組み、解けるようになっているか確認する。

3回目：すべての問題をもう一回解いてマルつけをする。

※自分の間違いほど貴重なものはないので、マルつけをする際に、間違いを消してはいけない。間違えた箇所は赤で修正する。

【進め方の目安】試験1週間前に3回目突入が理想的である。問題集・参考書を可能な限り、上記の進め方で取り組んでいく。

数学は学習時間をたくさんとっても集中していないと意味がありません。部活動などを通じて集中して取り組む姿勢を育て、素早く正確に解決する能力を着実に身に付けてください。

高校の数学では答えだけを記入しては正解にならない問題がほとんどです。解答の書き方も学ぶ必要があります。文章を書く力は数学でも求められることを覚えておいてください。

数学に苦手意識のある人は数学の先生に気軽に相談してください。学習方法などをアドバイスします。

◎英語

高校でどのように英語を勉強するかということが、その後の進路、大学や社会に出てからの英語への取り組み方に大きく影響すると考えます。豊多摩高校では英語学習への取り組み方の基礎となる学習習慣を確実に身に付けさせるとともに、どんな進路にも対応できる英語力を養っていく指導をしていきたいと思っています。

1・2年生では、できるだけ多くの英文に接することによる読解力の増強を目指し、教科書の他に年に数冊ずつ副読本を読む指導をしています。また、英文読解、英作文に必須の英文法・語法を身に付けさせる指導も行っています。3年生では、1・2年生で養った力を元に、大学入試に十分対応できる英語の実力をつけられるようきめ細かい指導をしています。

また、全学年で上記指導に加え、外国人講師を交えての授業を行い、英語を用いたコミュニケーション能力の向上を図っています。『英語を学ぶこと』とは、コミュニケーションや情報収集のための手段を身に付けることにとどまらず、英語を使っている人たちの思考回路や文化を学ぶことにもなるのです。豊多摩高校で英語を勉強し、様々な知識を得て、思考力を伸ばし、英語圏の人たちの考え方や文化を学ぶとともに、自分の考えを英語で表現できるよう頑張っていきましょう。

◎理科

(1) 教科・科目の目標

自然科学の現象を通じて、科学的な思考力・考察力を高める。

(2) 学習方法

教科書・図表・参考書等とプリントノートを照らし合わせながら、その日のうちに復習しましょう。疑問に思ったこと、わからなかったことについては、遠慮なく質問しに職員室に来てください。

高校理科は、法則や公式を丸暗記することよりも、それらがどんな現象でどのようなしくみで起こっているのか具体的なイメージをつかむことが大切です。

また、興味関心が高まり、もっと知りたいと思ったら新聞記事や書籍で自主的に勉強を深めていきましょう。

自宅で繰り返し復習して、次の授業に臨むようにしましょう。

◎地理歴史・公民科

21世紀に入り、日本も国際社会も新たな価値観を求めて揺れ動いています。現在の社会を様々な角度から理解し、その中で1人の人間として生きるための方途を探ります。

<地理>

1学年の「地理総合」では、日本や世界についての基礎的な理解と見方を学習します。課題学習や、地図を使った学習、地理野外調査などを通して日本や世界を学ぶための方法を身につけることも重視します。3学年の「地理探究」では世界や日本について様々な切り口からアプローチする応用力を養い、受験対策も行います。

<歴史総合>

1学年で学びます。世界と其中的の日本を相互的に捉えて、近現代の歴史を学んでいきます。資料を調べ、そこから背景や原因などを読み取りまとめて、資料を活用する技能を身につけていきます。そして歴史や諸課題についての知識を習得するとともに、多角的に考察し、学んだ考えを表現していきます。

<公共>

多様な人びとが集う共有地のような領域。それが「公共」。2学年で新たに登場する科目の名前でもあります。ダイナミックに変化する私たちの世界＝公共空間の現段階について学ぶとともに、その未来を作り上げていくために必要な知恵とスキルを磨きます。この科目の延長線上には、わが国やそれを取り巻くグローバル社会の動向や構造についてさらに専門的に学ぶ「政治・経済」（3学年必修科目）、哲学的アプローチによって人間や文化

への理解を深める「倫理」（3 学年選択科目）などの科目も用意されています。大学以降の学びにつながるものも少なくないはずです。

<日本史探究・世界史探究>

2 学年、3 学年で選択した生徒が学びます。歴史総合を学んだ上で、日本史または世界史、日本史・世界史相互の関係などの知識理解を深め、問や諸課題を多面的、多角的に考察して、その考察を説明したり議論したり、論述していきます。それらの学習活動を踏まえて、日本史探究では現代日本の課題に対する探究活動を、世界史では地球世界の課題に対する探究活動に取り組みます。

<政治・経済>

3 学年で学びます。2 学年の公共で学習した社会の在り方について見方・考え方を活用して現実社会に起こる問題を把握し、解決策を構想する探究的な学習を行います。また、自分の意見を他者に伝え、協働し、合意形成する力を養います。

<倫理>

3 学年で選択した生徒が学びます。現代社会における人のあるべき姿や自分の生き方を心理・社会・文化・思想・哲学といった視点から学習します。

4 教育課程

豊多摩高校の教育課程で勉強するにあたり、次のことに気を付けてください。

- ・第2学年で世界史探究（3）、日本史探究（3）、化学（3）、生物（3）のどれかを履修します。
 - ・第2学年では、数学Ⅱと数学Bの両科目が必修で、数学を週6時間、勉強します。
 - ・第3学年には必修選択科目が12単位と自由選択科目が6単位設置されています。
- いずれの学年でも、中学校より勉強量が格段に多くなります。第1学年のときから勉強する習慣を身につけておけば、楽しい高校生活が期待できます。

（1）教育課程一覧表（P. 8参照）

（2）単位の履修・修得の認定

- ア 出席日数がその学年の出席すべき日数の3分の2に満たない場合は、いずれの教科・科目についても単位の履修・修得を認められない。
- イ 欠課時数がその教科・科目の年間授業時数（35週）の4分の1を超えた者は、その教科・科目の履修を認められない。
- ウ 学年末において「1」と評定された教科・科目は、その単位の修得を認められない。

（3）進級の認定（令和7年度）

次の条件が満たされるとき進級を認める。

- ア 学年末において、その年度の出席すべき日数の3分の1以上の日数を欠席していないこと。
- イ その学年の必修科目をすべて履修していること。
- ウ 1学年においては、未修得の教科・科目の単位が合計で4単位を超えないこと。
2学年においては、1・2学年の未修得の単位の合計が7単位を超えないこと。

（4）卒業の認定（令和7年度）

次の条件が満たされるとき卒業を認める。

- ア 3学年において「（3）進級の認定」のア、イの各項目の条件を満たしていること。
- イ 3学年までの修得単位数の合計が、86単位以上であること。

5 数学Ⅰ（3単位）習熟度別授業について

数学科では、1年次からきめ細かい指導により、一人ひとりの生徒に基礎・基本を定着させ、より高度の内容を理解しようとする意欲をもった生徒を育てたいと考えています。そのために「数学Ⅰ」について、到達目標に応じた習熟度別授業を行っています。クラスは「標準」と「発展」のふたつに分かれます。

クラスの分け方は、1学期の入学時の成績、2学期以降は定期考査の成績などを参考にします。

<教育課程一覧表について>

- ① 1単位時間は50分、平日は6時間が基本ですが1日だけ7時間の日がある。土曜はおおよそ隔週4時間。
- ② 芸術の▲印は3科目中1科目を選択する。3学年で芸術を選択する場合は、1学年と同じ科目を選択する。
- ③ 2学年の△印は1科目を選択する。
- ④ 3学年の◎□○●のうちから、それぞれ1つを選択する。

【教育課程一覧表】

教科	学 年 科 目	標準 単位数	1 学年		2 学年		3 学年		
			必修	学校必修	必修	学校必修	必修	学校必修	自由選択
国 語	現 代 の 国 語	2	2(8)						
	言 語 文 化	2	3(8)						
	論 理 国 語	4				2(8)		2(8)	
	古 典 探 究	4				3(12)			
	古 典 研 究 A	学校設定科目						4◎	
	古 典 研 究 B	学校設定科目							2
地 理 歴 史	現 代 文 演 習	学校設定科目						2○□	
	地 理 総 合	2	2(8)						
	地 理 探 究	3						4□	4
	歴 史 総 合	2	2(8)						
	日 本 史 探 究	3				3△			
	世 界 史 探 究	3				3△			
	日 本 史 α	学校設定科目						4□	
	世 界 史 α	学校設定科目						4□	
	日 本 史 β	学校設定科目						2○	
	世 界 史 β	学校設定科目						2○	
公 民	地 理 演 習	学校設定科目							2
	歴 史 総 合 α	学校設定科目						2●	2
	歴 史 総 合 β	学校設定科目						2●	2
	公 共 倫 理	2			2(8)				2
数 学	政 治 ・ 経 済	2						2(8)	
	政 治 ・ 経 済 演 習	学校設定科目						2●	2
	数 学 I	3	3(12)						
	数 学 II	4				4(12)			
	数 学 III	3						4□○●	
	数 学 A	2		2(8)					
	数 学 B	2				2(8)			
	数 学 C	2							2
理 科	共通テスト数学ⅠA	学校設定科目						2○●	2
	共通テスト数学ⅡBC	学校設定科目						2●	2
	数学ⅠAⅡB応用演習	学校設定科目						4◎○●	
	物 理 基 礎	2			3(8)				
	物 理	4						4□	
	化 学 基 礎	2	2(8)						
	化 学	4				3△			
	生 物 基 礎	2	2(8)						
	生 物	4				3△			
	化 学 α	学校設定科目							4
	生 物 α	学校設定科目							4
	化 学 β	学校設定科目						4□	
	生 物 β	学校設定科目						4□	
	物 理 演 習	学校設定科目							2
	化 学 演 習	学校設定科目						2●○	2
保 健 体 育	生 物 演 習	学校設定科目						2●○	2
	共通テスト物理基礎	学校設定科目							2
	共通テスト化学基礎	学校設定科目							2
	共通テスト生物基礎	学校設定科目							2
芸 術	体 育	7～8	2(8)		2(8)1(16)		3(12)		
	保 健	2	1(8)		1(8)				
	生 産 ス ポ ー ツ 演 習	学校設定科目						2○	
	音 楽 I	2	2(5)▲						
	音 楽 II	2						2●	
	美 術 I	2	2(4)▲						
外 国 語	美 術 II	2							2
	書 道 I	2	2(4)▲						
	書 道 II	2							2
	英 語 コミュニケーションⅠ	3	3(8)						
	英 語 コミュニケーションⅡ	4				4(8)			
	英 語 コミュニケーションⅢ	4						4(8)	
	論 理 ・ 表 現 I	2		3(8)					
	論 理 ・ 表 現 II	2				2(8)			
	論 理 ・ 表 現 III	2						2(8)	
	英 語 演 習 1	学校設定科目						2○●□	
家 庭	英 語 演 習 2	学校設定科目						2○●□	
	家 庭 基 礎	2			2(8)				
情 報	フ ェ ッ ド デ ザ イ ン	2							2
	情 報 I	2	2(8)						
校 外 学 習 活 動	情 報 演 習	学校設定科目							2
	高次連携における学修								2
総合的な探究の時間			3～6	1	1		1		
ホ ー ム ル ー ム 活 動				1	1		1		
生徒一人当たりの履修単位数計				33	33		27～33		

6 芸術科の選択

本校では芸術教科として、音楽、美術、書道の3科目が設けられています。中学校までと違い、このうちの1科目を選択し、1年の時に毎週2時間（2単位）を学習することになります。以下の説明をよく読んだ上で選択し、この冊子の後ろにある選択調査票に記入して入学手続き時に提出してください。また、3年生の時に芸術科目「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」「書道Ⅱ」を選択する場合、1年生で選択した科目と同じ科目しか選択することができませんので気を付けてください。

（例）1年生で「音楽Ⅰ」を選択・履修→3年生「音楽Ⅱ」 ○選択できます
3年生「美術Ⅱ」、「書道Ⅱ」×選択できません
※選択した科目はクラス編成の関係で希望通りにならない場合もあります。

（1）音 楽

幅広い分野での音楽活動を通して、自己表現力を高めていくことを目標にしています。
音楽活動には独奏からグループ演奏までを含みます。また、人前で実技の発表をする活動も入りますので、熱意をもって授業に臨み履修してください。

（2）美 術

美術の授業を通して美的体験を豊かにし、造形の能力を伸ばすと共に美術を愛好する心情を養います。

<内 容>

- ・創作する喜びを学ぶ（絵画、デザイン、素描等）
- ・美術は自然から学び、人間が創り出す芸術です。基礎をしっかりと学習しましょう。

<その他>

- ・道具や用具はよいモノ、たしかなモノを購入して使おう。
- ・美術館に行き、よい作品に接しよう。
- ・若干の教材費がかかります。

（3）書 道

書道は中学までの書写とは違い、高校から初めて学習する教科です。文字を使って書かれた作品の表現を見て味わい、自ら書いて作品にすることから書道のさまざまな自己表現を楽しみ高めていきます。

<内 容>

- ・漢字の書（中国・日本の感じの書の表現を知る）
- ・仮名の書（日本の仮名の書の表現を知る）
- ・漢字仮名交じりの書（現代日本の書表現する）

<その他>

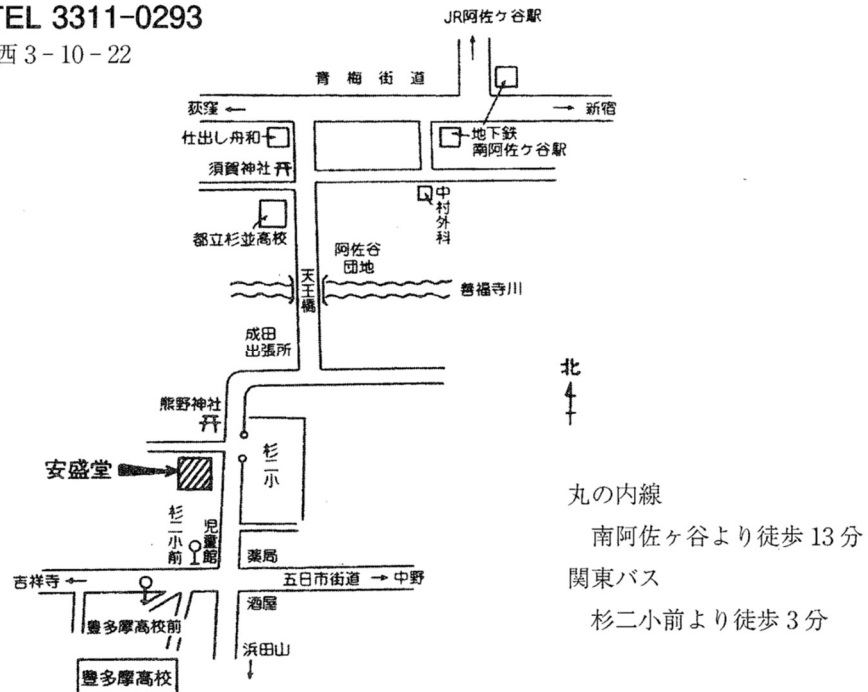
用具用材に関しては最初の授業で連絡をします。

7 指定用品の取扱い業者

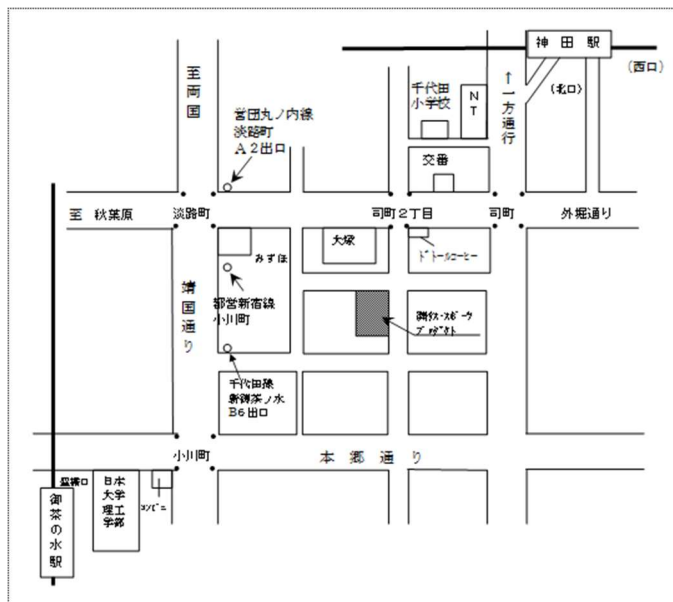
(1) 教科書・補助教材

安盛堂 TEL 3311-0293

杉並区成田西 3-10-22



(2) 体育用品全般



(株) サス・スポーツプロダクト

千代田区神田司町 2-17

TEL : 3233-3711

<最寄り駅>

JR 神田駅 徒歩 7 分 (北口)

丸の内線 淡路町駅 徒歩 3 分

(A2・A4 出口)

千代田線 新御茶ノ水 徒歩 5 分

(B6 出口)

<営業時間>

9 : 00 ~ 17 : 00 (月 ~ 金)

9 : 00 ~ 15 : 00 (土)

※詳しくは電話でお問い合わせ
ください

8 指定用品の価格・購入方法

以下の用品は本校指定のものとなっており、各自で購入する必要があります。

トレーニングウェア等は3年間体育の授業で使用するものです。学年色のデザインになっています。

(1) 体育用品

品 名	価格 (税込)	購入 対象	取 扱 業 者
トレーニングジャケット	5, 4 5 0 円	全員	(株) サス・スポーツ プロダクト
トレーニングパンツ	3, 9 9 0 円	全員	
半袖シャツ	2, 9 8 0 円	全員	
ハーフパンツ	3, 3 5 0 円	全員	
長袖シャツ	3, 5 3 0 円	全員	
水着 (男子)	1, 5 0 0 円	希望者	
スイミングサポーター (男子)	4 0 0 円	希望者	
スイミングゴーグル	1, 0 0 0 円	希望者	
水着 (女子)	3, 0 0 0 円	希望者	
スイミングサポーター (女子)	5 0 0 円	希望者	
スイムキャップ	4 0 0 円	全員	
体育館シューズ	4, 1 0 0 円	全員	
上履き	1, 5 0 0 円	全員	
トレーナー (丸首)	3, 8 0 0 円	希望者	
配送料	1, 4 3 0 円	全員	

(2) その他

白衣	2, 0 0 0 円	全員※	昭和衣料 株式会社
----	------------	-----	-----------

※白衣を既に持っている場合は、購入する必要はありません。

(3) 購入方法

①体育用品

合格発表初日（推薦：2月2日、学力3月2日）の9：30分から15：30まで、校内で取扱業者が出張販売を行っています。採寸・申込みをこの日に行い、商品の引き渡しは宅配となります。

②その他（白衣）

白衣は入学式（4月7日（火））の日に取扱業者が出張販売を行います。この日に購入が出来なかった場合は、個別に取扱業者へ連絡してください。

<取扱業者>

昭和衣料株式会社 電話番号：03-3872-1760

9 入学手続きの内容と期限

内容	期限
入学料の納入（推薦合格者）	2月9日（月）
入学料の納入（学力合格者）	3月9日（月）
学校徴収金（入学一時金）の納付	3月2日（月）から 3月11日（水）まで
入学手続き書類（紙）の郵送	
入学手続き書類（電子）のL o G oフォーム登録 ※	

※L o G oフォームは3月2日（月）0時まで閲覧・回答することができません

10 入学料の納入

（1）納入金額 5,650円

（2）納入期限

合格発表日の翌日から起算して5日目（5日目が金融機関休業日の場合は翌営業日）になります。

・推薦合格者 2月9日（月）まで

・学力合格者 3月9日（月）まで

（3）その他

入学料には減額・免除の制度があります。申込みは入学料納入期限までとなります。

申請方法・要件等については、経営企画室までお問い合わせください。

11 授業料

授業料（全日制）は年額118,800円（月額9,900円）となります。

令和7年度時点、授業料は国（就学支援金）又は東京都（臨時支援金）の制度により無償化されることになっています。

12 学校徴収金

学校徴収金とは、学年積立金・生徒会（学友会）費・PTA会費の総称です。

学校における教育活動で必要とされている経費のうち、生徒・保護者が負担しなければならない費用となります。

積立金は主に授業で使用する教材の代金、遠足・修学旅行をはじめとする行事の参加費、模試の受験費用等として徴収しています。

(1) 入学時前納金

まずは入学当初に必要な各種経費として、「入学時前納金」をお支払いいただきます。金額は50,000円（積立金45,000円、生徒会費5,000円）となります。

支払いは、封筒「入学確約書を提出された皆さんへ」に同封の「払込取扱票」を使用し、最寄りの金融機関（またはATM等）から、令和8年3月2日（月）から令和8年3月11日（水）までにお支払いください。

(2) 入学後のお支払いについて

詳細は別途お知らせさせていただきます。

1.3 入学手続き書類の提出

詳細は封筒「入学確約書を提出された皆さんへ」に同封されている「令和8年度 入学手続きのご案内」をご参照ください。

1.4 各種支援制度

東京都教育委員会では、在学中に要する授業料等の費用について、以下のような支援制度を設けています。各制度を利用するには申請が必要です。

(1)～(3)の手続きの詳細については、経営企画室より別途ご案内いたします。

日本学生支援機構等が管轄している奨学金等については進路図書部の所管となります。

(1) 就学支援金

対象：全員

内容：授業料が無償になる国の制度です。

※令和8年度の詳細は現在未定です

(2) 給付型奨学金

対象：世帯年収の目安が350万円未満

内容：限度額（3万円または5万円）を上限に、模試代金や行事への参加費用等に充てられる給付金です。

(3) 奨学のための給付金

対象：住民税所得割額が非課税の世帯

内容：学用品費や通学費などの補助として、一定額が保護者へ直接給付されます。

(4) 生徒一人1台端末(スマート・スクール端末)の購入支援金

保護者負担額を原則3万円以内にする補助制度です。

①保護者負担定額補助:負担額3万円

②多子世帯補助:負担額1万5千円

③給付型奨学金(端末購入補助):対象世帯は負担額0円

詳しくは「入学確約書を提出された皆さんへ」に同封されている端末販売のリーフレットをご参照ください。端末納品時に同梱(予定)の「申請のご案内」もご確認ください。

1.5 経営企画室について

経営企画室では次のような業務を取り扱っています。

手続き方法(提出が必要な書類等)は、経営企画室窓口でご確認ください。

<受付時間:平日9:00から16:45まで>

内容	日にち	備考
各種証明書の発行 ※	翌日～1週間	種類により異なります
学割の発行	翌日	長期休業中は例外あり
生徒証明書の再発行	〃	〃
氏名・住所等、届け出内容の変更	—	生徒証の訂正は翌日
各種支援制度の申し込み受付	詳細は別途ご案内いたします	

※在学証明書、成績証明書、単位修得証明書、調査書、その他

1.6 電話による問合せ

「入学のしおり」の内容や各種手続きに関するご質問は、担当の部署までお問い合わせください。

入学後の学校生活等については、新入生説明会にて詳しくご案内いたします。

<東京都立豊多摩高等学校>

電話番号:03-3393-1331(代表)

問い合わせ内容	部署	音声ガイダンス番号
新入生説明会、入学式、学校生活(全般)	学年	1
進路指導、奨学金(日本学生支援機構)	進路部	2
教育課程(単位の履修・修得)	教務部	3
生活指導、保健関係	生徒保健部	4
事務手続き全般、費用	経営企画室	5